

平成29年度放課後等デイサービス
事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年4月1日

事業所名 多機能型事業所きらら館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・利用人数や学年で訓練室を分け、支援を行っている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			・適切に行われている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安心安全に過ごす事ができるよう配慮を行っている。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			・日々の支援に対し、支援者全体で月間、年間の振り返りや見直しを行っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価を実施し、意見を元に改善に取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・平成29年度より自己評価の結果公表を行っていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・放課後等デイサービス担当以外の職員も含め、ガイドライン等の研修を行う必要がある。 ・研修が少なかったため、来年度より必要な研修を取り入れていく必要がある。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントを実施し、必要な情報を積極的にとりながら、ニーズや課題の分析を行い、サービス計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用して対応している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				・放課後等デイサービス担当者に任せきりになっているため、全体で立案・検討した方が良いのではないかと。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			・活動内容がマンネリ化しているものがある。日々の振り返りや見直しを行いながら、改善を行っていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・利用時間に応じて、個々に合った課題を提供し、集中して取り組むことができるよう設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせたサービス計画となるよう努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前の支援内容の確認等を行っているが、十分でない場合もあるため、より充実した支援となるよう、取り組んでいく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・振り返りや反省の時間を設けている。気づきを増やし、共有を行っていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録をとる事を徹底し、気づきや改善点についてミーティングを行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的モニタリングを実施し、見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の課題に応じて複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				・こども状況に応じて児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での状況等を説明している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・下校時間の確認等、必要な情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・かかりつけ医、主治医の把握は行っており、必要に応じて連絡を取っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・現在は対象児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修会への参加を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・児童クラブ等との交流は行っていないが、地域の子どもとかかわる機会を設けている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			・日々の状況を細かに伝えるよう心掛け、自宅での状況の把握も行いながら、共通理解を持ってよう努めている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングの支援は実施できていないが、保護者に対し、必要に応じて助言を行っている。
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・丁寧な説明を心がけている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・マザーズサロンや日々のやり取り、その都度面談の機会を設け、助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母の会の活動はないが、保護者会やマザーズサロンの開催を定期的に行っている。参加者を増やしていけるよう、参加しやすい日時の設定など、工夫を行っている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情等に対しては、その都度迅速丁寧な対応を心がけている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月のトピックスや活動予定表に写真を取り入れるなど、活動の状況を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		・対象となる児童、保護者は現時点でいないが、都度状況に応じ対応できるよう努める。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	○			・地域住民の方を行事へ招待し、共有の機会を設けている。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について保護者へ情報を発信している。 ・現在みられる症状として玄関に貼り出すとともに、職員会議で感染症の状況や予防について周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を実施している。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。より知識を高める機会を増やしていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束については行っていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている

・この、「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

平成29年度放課後等デイサービス
事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年4月1日

事業所名 多機能型事業所きらら館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・利用人数や学年で訓練室を分け、支援を行っている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			・適切に行われている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安心安全に過ごす事ができるよう配慮を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			・日々の支援に対し、支援者全体で月間、年間の振り返りや見直しを行っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価を実施し、意見を元に改善に取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・平成29年度より自己評価の結果公表を行っていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・放課後等デイサービス担当以外の職員も含め、ガイドライン等の研修を行う必要がある。 ・研修が少なかったため、来年度より必要な研修を取り入れていく必要がある。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントを実施し、必要な情報を積極的にとりながら、ニーズや課題の分析を行い、サービス計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用して対応している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				・放課後等デイサービス担当者に任せきりになっているため、全体で立案・検討した方が良いのではないかと。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			・活動内容がマンネリ化しているものがある。日々の振り返りや見直しを行いながら、改善を行っていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・利用時間に応じて、個々に合った課題を提供し、集中して取り組むことができるよう設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせたサービス計画となるよう努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前の支援内容の確認等を行っているが、十分でない場合もあるため、より充実した支援となるよう、取り組んでいく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・振り返りや反省の時間を設けている。気づきを増やし、共有を行っていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録をとる事を徹底し、気づきや改善点についてミーティングを行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的モニタリングを実施し、見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の課題に応じて複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				・こども状況に応じて児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での状況等を説明している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・下校時間の確認等、必要な情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・かかりつけ医、主治医の把握は行っており、必要に応じて連絡を取っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・現在は対象児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修会への参加を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・児童クラブ等との交流は行っていないが、地域の子どもとかかわる機会を設けている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			・日々の状況を細かに伝えるよう心掛け、自宅での状況の把握も行いながら、共通理解を持ってよう努めている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングの支援は実施できていないが、保護者に対し、必要に応じて助言を行っている。
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・丁寧な説明を心がけている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・マザーズサロンや日々のやり取り、その都度面談の機会を設け、助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母の会の活動はないが、保護者会やマザーズサロンの開催を定期的に行っている。参加者を増やしていけるよう、参加しやすい日時の設定など、工夫を行っている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情等に対しては、その都度迅速丁寧な対応を心がけている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月のトピックスや活動予定表に写真を取り入れるなど、活動の状況を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		・対象となる児童、保護者は現時点でいないが、都度状況に応じ対応できるよう努める。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	○			・地域住民の方を行事へ招待し、共有の機会を設けている。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・感染症対策について保護者へ情報を発信している。 ・現在みられる症状として玄関に貼り出すとともに、職員会議で感染症の状況や予防について周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・定期的に避難訓練を実施している。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。より知識を高める機会を増やしていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・身体拘束については行っていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている

・この、「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。